

(認特) 浜松 NPO ネットワークセンター
2021 年度 事業報告書 (2021/4/1~2022/3/31)

1. 民間非営利組織の発展を支える事業

(1) 共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー
事務局代行は、フィリピンナガイサ、浜松環境ネットワークの2団体

(2) 啓発

1) ネットワーク事業

① つながる仲間ミーティング準備会議【静岡県労働者福祉基金協会】

NPOパートナー委員会として実施する「幸せを支え合う社会を実現する」プロジェクトの検討会議に参加。西部地区担当のN-PocketがNPOパートナー委員会参加の福祉事業団体とNPOの連携活動を企画。来年度より実施することになった。

② フードバンク

・フードバンク【自主事業】

個人、企業、リサイクル実践機関とネットワークすることによって、孤立を防ぐための支え合いと地球環境を守るための資源循環の啓発活動として実施。

*外国人市民向け食料支援（HICE との協働）：のべ41家族へ合計403Kg提供。

*8月、1月：(認特) フードバンクふじのくに フードドライブに協力 136.7Kg提供

*通年：食品寄贈受け入れ(103件、1131Kg) 食品提供(84件、990Kg)

食品のやり取りを通しての連携：フードバンクふじのくに、障害者発達支援センター、企業(CSRの一環、防災備蓄の入れ替え)、教会、自治会、子ども食堂、学習支援者、路上生活者支援団体、浜松市市議会議員

・子育て世帯に対するフードパントリー緊急支援事業【浜松市委託】

(3) 情報収集・提供

1) ニュースレター年4回、ホームページ、ブログ(エヌポケット18回、ジョブコーチ13回)
Facebook(75件)、Twitterで発信

2) エヌポケットサロン

① 5/6 zoomパブコメサロン 「子どもの未来サポートプロジェクト(子どもの貧困対策計画)案」参加者0名

② 11/22、11/30 zoomパブコメサロン 「浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例(案)」1回目：参加者7名、2回目：参加者8名

3) 情報受発信

① 「浜松市SDGs推進プラットフォーム」会員

② 「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」パートナー会員

・デジタル庁デジタル社会推進賞、市より推薦(落選)

・3/17 デジタル・スマートシティ浜松"ウェビナーシリーズ 第9回~福祉分野の取組と今後の展望~に登壇

③ 静岡県西部NPO法人会・幹事会

- ・メッセージャーでの連絡機能のみ温存。静岡県公契約条例についてエヌポケットから法人会サイトに1件掲載。

- ④ ジョブコーチ NPO 法人ジョブコーチ・ネットワーク会員
- ⑤ “ふじのくに” i (アイ) マップ支援団体登録

(4) 地域資源調査

Web サイト「はままつ市民の力きらきら BOX」 内容更新、及び8 団体追加掲載

(5) 提言

1) 行政機関等の各種委員会委員

井ノ上美津恵：浜松市創造都市推進事業補助金審査委員、

静岡県ふじのくに NPO パートナースhip 委員、静岡県ふじのくに NPO センター選定委員
大野木里美：湖西市文化の香るまちづくり審査委員、浜松市共同募金委員会委員

木村智子（法人理事）：浜松市都市整備部指定管理者選定会委員

島田江津子：浜松市中エリア障がい者自立支援連絡会委員

松井章子（会員）：浜松市ユニバーサルデザイン審議会委員

2) パブリックコメント提出

- ・子どもの未来サポートプロジェクト(子どもの貧困対策計画)案
- ・浜松市人権を尊重し多様性を認め合う差別のない社会づくり推進条例（案）

2. 多様な人々の社会参加を支える事業

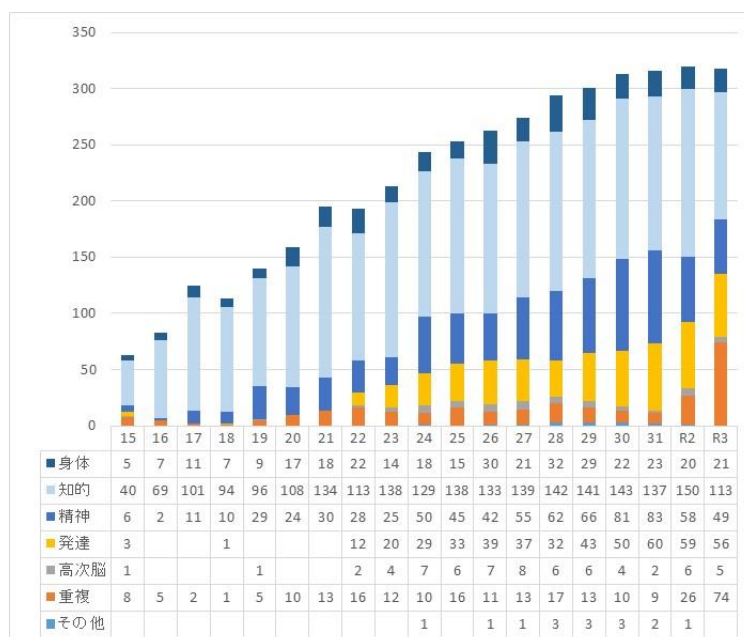
(1) 障害のある人

1) 障害者職場定着支援事業（21 年目）【静岡県経済産業部】

① ジョブコーチ派遣

支援対象者 318（304+14）/300 人 派遣件数 3,769/3,600 人日

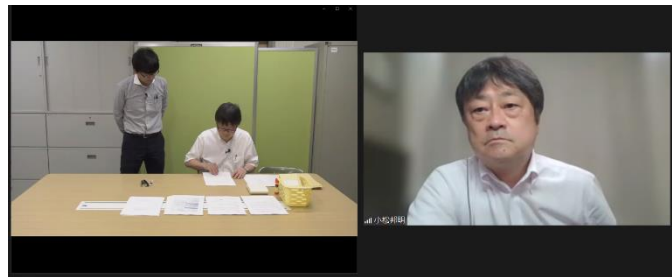
定着調査 148 人（継続 119、離職 14、雇用されない 15）



② ジョブコーチスーパーバイザーによる企業内ジョブコーチへのアドバイス支援
338/280 人日

③ ジョブコーチスキルアップ研修 10 回
ジョブコーチの資質の向上を図る講座を主に Zoom で開催
参加者 55 人（のべ 409 人）
SST 実践研修、認知特性などを取り上げる。

④ 障害者職場定着支援者養成研修
静岡県ジョブコーチ希望者および企業担当者、障害者施設などの支援者向け研修
日程：第 1 回 7/20・22・26・28・30、第 2 回 8/24・26・30・9/1・3
場所：Zoom によるオンライン研修
受講者：第 1 回 40 人、第 2 回 44 人
修了証発行：第 1 回 37 人、第 2 回 40 人
実習希望者 16 人→実施 8 名（中止 2 名）



⑤ 精神障害者職場環境アドバイザーの派遣
124/96 社 313/288 人日 定着支援人数 62/115 人
定着調査 30 人（継続 27、離職 3）

⑥ 関係機関との連携
オールしずおかベストコミュニティ コーディネーターとの連絡会（月 1 回）

2) 静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

- ① 拠点ミーティングおよび代表者会議 それぞれ月 1 回
- ② ブログ発信 13 回 <http://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/>
- ③ 静岡県ジョブコーチ アドバイザリーボード(未実施)
- ④ 関係団体とのネットワークづくり
・各地区の各種支援会議

3) 障害者職業センタージョブコーチ事業（障害者職場適応援助者助成金事業）（19 年目）

【独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構】

職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業（ジョブコーチ 1 名）

4) 障害者雇用コンサルタント

- ① 磐田市の病院での支援（中遠拠点） 【自主事業】
- ② 静岡県人事課

- 障害のある職員の職場定着のための JC 派遣【自主事業】
- 障害のある職員の職場定着を目的とした相談員派遣【自主事業】
- ③ 自治体や企業を対象にした JC 利用契約促進のための訪問活動

(2) ICT による社会参加支援

1) 障害者在宅 ICT 機器講習

- ① 西部地域（13 年+6 年目） 【静岡県健康福祉部】
申込 42 名（視覚 26、肢体 9、聴覚 3、知的 1、重複 1、精神 1、難病 1）+（3 名キャンセル）
講師 14 名、実施講座 320H
- ② 中部地域（1 年目） 【静岡県健康福祉部】
申込 3 名（視覚 2、肢体 3）+（3 名キャンセル） 講師 2 名、実施講座 49H
- ③ 東部地域（1 年目） 【静岡県健康福祉部】
申込 4 名（視覚 3、肢体 1） 講師 4 名、実施講座 37H

2) 障害者福祉施設内での iPad 講座+PC 講座 【浜松市社会福祉事業団】

iPad12 回（のべ 88 名）+PC 講座 24 回（のべ 111 名） ボランティアのべ 78 名

3) バリアフリーオアシス（相談、在宅訪問） 【寄付による自主事業】

（特）六星 視覚障害者 ICT 支援事業立ち上げ協力 他

4) ぼけっと工房（15 年目） 【自主事業 54.8 万】

登録テレワーカー数 21 名（四肢 11、視覚 2、知的 1、内部 1、精神 4、聴覚 2）。

今年度実就労者 5 名（四肢 1、精神 1、知的 1、聴覚 2）

受注実績 6 件（データ入力、Web ページメンテナンス等）。発注者は、団体、法人。

5) iPad 講座 （2 年目） 【(公財) ニッセイ財団 60 万】【WAM 助成一部】

- ① iPad 環境整備 iPad やノイズキャンセラー等、発達障害のある子どもたちの学習支援等に生かす機器を整備した。
- ② 困難を抱えるこども支援者向け研修会 読み書き障害等、発達障害児を理解するための支援者向け研修会を 2 回開催した。
 - ・「もう悩まない、子どもの苦手感をデジタル機器で解決」 10/24（日）13:00～15:30
講師：平林ルミさん（特別支援教育士スーパーバイザー、学びプラネット合同会社）
会場：クリエイイト浜松 参加者：23 名
 - ・「アプリで体験できる！ 子どもとの適切な寄り添い方」 11/28（日）13:00～15:30
講師：奥塩渚さん（臨床心理士/学習支援教室「まなびルームポラリス」）
会場：浜松市市民協働センター 参加者：12 名

(3) 多文化・子ども

2016 年度に行った「貧困の子ども支援浜松はじめの一步連携事業」の成果を活用しつつ、訪問型学習支援を続ける中、経済的困窮だけでなく様々な困難、特に愛着障害、外国ルーツの子ども達の言葉の問題に由来するのか、手帳を持たないレベルの知的や精神、発達障害の疑いがある子ども・若者の姿が浮かび上がってきました。多様なこどもの育ち支援事業として活動を継続しました。

1) 「多様な困難をもつ子どもへの寄り添いとその支援力向上を図る事業」【福祉医療機構】

- ① アウトリーチ型学習支援 合計 276 時間
対象者 22 人：小 6、中 10、高 4 人その他 2

障害あり 11 / 養育者 シングルマザー12、両親 9、祖母 1 / 外国ルーツ 9
／登校不安定 2、不登校 2

講師 11 人

② こども支援活動団体調査活動（きらきらBOXやブログに紹介記事掲載）

10 団体を訪問調査

③ 支援者向け研修会及び交流会

- ・ 7/25（日）「事例で学ぶ発達の子どもの凸凹に寄り添う学習支援」

講師：澳塩渚さん（臨床心理士/学習支援教室「まなびルームポラリス」）

会場：浜松市市民協働センター 参加者 12 名

- ・ 10/24（日）「もう悩まない、子どもの苦手感をデジタル機器で解決」（再掲）

講師：平林ルミさん（特別支援教育士スーパーバイザー、学びプラネット合同会社）

会場：クリエイイト浜松 参加者 23 名

- ・ 11/28（日）「アプリで体験できる！ 子どもとの適切な寄り添い方」（再掲）

講師：澳塩渚さん（臨床心理士/学習支援教室「まなびルームポラリス」）

会場：浜松市市民協働センター 参加者 12 名

- ・ 12/19（日）「子どもの「困った」には理由がある。感覚統合×ライフステージ」

講師：茂木厚子さん（発達支援相談員/発達支援「Kids Sense」）

オンライン（ZOOM）

- ・ 2/6（日）「多様な性ってなんだろう」

講師：鈴木げんさん（浜松 TG 研究会）、認定 NPO 法人 Rebit

会場：浜松市市民協働センター オンライン（ZOOM） 参加者 23 人

④ 報告会開催

- ・ 2/23（水・祝）「子どもの安心を支えよう」 参加者 41 名

第 1 部 基調講演「不登校など傷ついた子は、どうしたら回復するか」

講師：石井志昂さん（不登校新聞編集長、不登校経験者）

第 2 部 エヌポケット活動報告及び子ども支援団体活動報告と座談会

登壇者：鈴木浩之さん（里山題楽校 代表）、大野木龍太郎さん（浜松学院大学スマイルスポーツクラブ 顧問）、奈良志保さん（アクティブ 副代表）

⑤ 報告書作成

子どもの安心を支えよう A4 判 30 頁 100 部

2) 児童福祉施設で暮らすこどものための学習支援【自主事業】

1 家族 1 人（中 3）、講師 2 人

3) 困難を抱えた子どもを支えるためのみんなの繋がるセミナー【日社済・寄付】

- ・ 子どもの行動と寄り添い方はじめの一步講座 オンライン

8/1（日） 講演

講師：井上賞子さん（特別支援教育士、「魔法のプロジェクト」マスターティーチャー）

参加者 39 名

8/22（日） シンポジウム

シネジスト：井上賞子さん、遠藤雄策さん（小児科医）、笹田夕美子さん（臨床心理士）

参加者 26 名

・アナログゲーム活用講座 オンライン

2/27（日）アナログゲームで分かる！ 生きやすいコミュニケーションカの育て方

講師：松本太一さん（療育アドバイザー）参加者 24 名

3/13（日） アナログゲームで遊び倒そう！

講師：大隅和子さん（あそぼっくす）、 事例報告 参加者 10 名

4) 子育て世帯に対するフードパントリー緊急支援事業（浜松市委託）（再掲）

「経済的に困窮している浜松市在住の子育て家庭」という条件で、100 家族程度に食料を配付する事業。地域で継続的な支援のネットワークを広げる意図がある。

第Ⅰ期：中区佐鳴台協働センター、第Ⅱ期：西区篠原協働センター、第Ⅲ期：南区南陽協働センター。

各 106 世帯に購入した米、パスタ、レトルトなど食料を配布。

のべ 寄付 15 団体、アルバイト 33 人、ボランティア 10 人、相談員 10 名の協力。

相談者のべ 15 名。

5) 浜松市支援対象児童等見守り強化事業による支援

本来は児童虐待予防の目的で、対象児童の家庭に食品を毎月届けながら見守り社会とのつながりをつけておくもの。

受託団体 「NPO 法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム」の協力団体として実施。

実数 5 家庭（対象児童 10 名）へ 22 回訪問

（４）環境・地域の自立

1) 浜松市都市公園市民協働支援事業（３年目） 【浜松市都市整備部】

・公園協議会発足に向けた模擬会議「公園市民会議」の開催

都市公園法第 17 条の 2 に定める公園協議会の設立を見据え、その前身となる「浜松市公園づくりの在り方市民協議会」発足のため、多様な分野にわたる 11 名に委員を依頼した。公園協議会のあり方、さらには新設の浜松城公園鹿谷地区に関わる住民・市民意見の集約プロセスを共有し、公園整備における市民協働の推進と民間活力の導入に関する基本方針「はままつ公園みんなプラン」を策定した。

8/20（金）、10/15（金）、11/29（月）18:30～21:00

spin-off 会議：12/1,5 参加希望者のみでオンライン実施

委員：11 名（＋ファシリテーター、公園課 4 名～6 名、事務局 2 名）

場所：遥懸夢ビル 3F 及びオンライン

ファシリテーター：鈴木まり子さん（鈴木まり子ファシリテート事務所代表）



グループで話し合った内容を発表

3. 組織の管理運営

1) 事務局会議

事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を、毎週水曜 10:00～11:00 で 46 回行った。各事業担当者から 1 週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。

年 1 回、4 月に年間戦略会議を持ち、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論する

場を持つのが恒例だが、本年度は4/22に浜北区森林公園「森の家」にてリトリートを行った。

2) 理事会

2021年度は3回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

6/20(土) 15:00～15:50 理事8名(委任状1名)、監事2名、その他1名 計11名

12/3(金) 18:00～20:00 理事8名、監事2名、その他1名 計11名

3/31(木) 18:00～20:00 理事9名、監事2名、その他1名 計12名

3) 総会

6/20(日) 16:00～17:30 ハルカムビル3F ハイブリッド

参加者：正会員27名(うち委任状提出7名(正会員総数41))

4) 認定NPO法人の認定について

2021年度寄付 123件(3000円以上の有効寄付者数98名)